

地域とともにある学校づくり コミュニティ・スクール がはじまります

町では、平成30年6月からコミュニティ・スクールを導入します。

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を目指します。

1 コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校の総称です。

「学校運営協議会」の委員は、保護者や地域住民、学校の教員などで構成され、各校の校長先生が毎年作成する学校運営の基本方針を承認したり、子どもや学校の現状・課題を知り、解決に向けてどんな取り組みをしていくかを話し合います。また、地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることもします。

平成29年4月には、道内で164校が導入しており、上川管内では名寄市、富良野市、下川町、東神楽町、東川町、美瑛町、南富良野町、占冠村が導入しています。

2 なぜ今、「コミュニティ・スクール」なのか

子どもたちや学校が抱える課題は、年々複雑になっています。

そこで、学校だけでなく、地域全体で子どもを育てていく仕組みが求められてきました。それが、コミュニティ・スクールなのです。コミュニティ・スクールでは、地域と学校が一体となり、役割分担をしながら課題の対応策を考えることで、地域の声を積極的に生かした特色ある学校づくりを進めることができます。

取り組み

平成30年6月1日から下記のとおり学校運営協議会を設置します。

◆和寒小学校と和寒中学校の2校で1つの協議会「和寒町学校運営協議会」を設置します。

委員は、15名以内とし、保護者・地域住民・学校の教員などで構成されています。

任期は1年間です。

◆和寒町学校運営協議会での主な役割

○校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること

○学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること



地域とともにある学校づくりを目指して

コミュニティ・スクールによって、和寒町全体が、「めざす子ども像」を共有して、地域と一体となって子どもたちを育てていきます。子どもたちが各活動を通して大人や地域との繋がりのなかで、「ふるさとわっさむ」を愛する気持ちを育むこともコミュニティ・スクールでは目指しています。